岩手県立千厩病院　～患者さんのための院内ニュース～第７０号　　２０２３年２月発行

広報誌

うぐいす

病院理念
　すべての人々に安らぎと希望を
基本方針
1. やさしさとぬくもりのある医療を提供します。
2. 個人の価値観に配慮し、患者中心の医療を展開します。
3. 適切なリスク管理により、安全・安心をめざしたチーム医療を提供します。
4. 地域に根ざした病院として、地域の医療・介護・保健・福祉に貢献します。
5. 医療人として常に質の向上を図り、健全で希望に満ちた病院づくりに努めます。

新年を迎えて

病院長　佐藤　一

新年明けましておめでとうございます。令和５年の年初にあたりご挨拶申し上げます。昨年中は大変お世話になりました。当院を利用頂き、運営にご協力頂いた皆様に心より御礼申し上げます。

新型コロナの流行が始まり、もうすぐ３年です。感染流行の当初にこれまで経験のない大変な事態が始まるのかとは思いましたが、まさかこれほどまで長期間にわたって我々の生活や医療に大きな影響を及ぼすとは予想できませんでした。岩手県は国内では最後まで感染者を出さずに、その後も県民上げての努力で医療への影響も最小限にとどめていました。しかし昨年秋に始まった第８波では、逆にそれまで感染者が少なかった県で流行が先行する事態となってしまっており、岩手県での人口当たりの感染者数は全国でも最上位のレベルとなっています。元々、医療資源の乏しい岩手県全体、そして県都盛岡から遠く普段から医療の確保に苦労している東磐井の様な地域は更に大きなダメージを受けています。

当院では両磐圏域全体から新型コロナに感染した軽症の患者さんを受け入れるのが当初の役割でしたが、もはや軽症者を入院させる余裕はなくなっており、ほぼ全ての新型コロナの入院患者は中等症以上のレベルになっています。そこまで入院を限定しても確保病床は早々に埋まってしまい、昨年末の病床利用率は県内の病院の中でもトップの１００％を越える状況が続いていました。県の発表では全県の病床利用率がかなり低く発表されていますが、両磐地域の実情は反映されていません。第７波までは、持病があるなどの高リスクの高齢者は、感染判明した直後に入院して頂いて治療できており、亡くなる方も稀でした。

しかし、現在の第８波では感染者が多すぎて中等症以上に状態が悪化した方だけに入院を限定しなければなりません。そのため感染した高齢者のほとんどは持病や別の病気が悪化しても自宅や施設で療養せざるを得ない状況となり、かなり病状が悪くなってから入院することが多くなり、その中で亡くなる方も増えています。

県立千厩病院はコロナ患者受け入れのため、その他一般の入院病床を半減した状況で運営しています。期間限定と考えていた施策も２年を越えてしまいましたが、現在の感染状況を考えるとまだまだ継続せざるを得ません。少ない病床で、かなりの数の救急入院などを受け入れているため、状況によっては入院を短期にして他の病院や施設に移っていただく、自宅に早めに帰っていただくなどして、次の患者さんの為の病床を空けてもらいながら、なんとか医療を継続している状況がずっと続いています。もとより当院の患者さんには、かなりの高齢の方が多くて回復にも日数がかかるのですが、そのような事情からどうしても十分元気になるまで当院で入院療養して頂けないことが増えています。多くの患者さんやそのご家族の皆様にはご不安、ご不便な思いをさせてしまう事があり大変申し訳なく思っております。

現在の当院の役割としてまず考えるのは、新型コロナに対応する病床を適切に運営して感染した患者さんの命を救うことです。そして、このコロナ禍においても、救急医療を中心として地域の高齢者医療を担っていくことと、地域の透析治療を維持継続することが当院に課せられた役割と考えております。コロナ収束後に向けては、現状でどうしても不十分になってしまっている地域包括ケアを充実させる為に、施設や在宅医療などとの連携もさらに緊密にしていく必要があります。

地域の皆様の声にも耳を傾けながら、病院を発展させて行きたいと考えておりますので、今後とも県立千厩病院をどうぞよろしくお願い申しあげます。

病院のロゴマークについて

病院のロゴマークが昨年３月１日に完成し、あと少しで１年を迎えることになります。

遠野前院長の「千厩病院のロゴマークを作りましょう」との呼び掛けから始まった当院のロゴマーク作成プロジェクトですが、先ずはデザインをどうするか・・・。「職員の中に絵心のある人がいるのでは」だとか「お子さんが美術部でアイディアを出してもらえるかも」といった発想で、先ずは職員及び職員のご家族を対象にデザインの募集を行いました。募集から２０日余りの短い期間で、職員から４点、ご家族から４点の計８点の応募があり、その後職員投票を行い、「７０％」という高い投票率により現在のデザイン原案が選考されました。

医療従事者と患者様が寄り添い合い手を差し伸べている姿と、その中心に千厩の地名の由来である馬のイラストが入っていて、なんとも千厩病院らしい素敵なデザインです。

新型コロナウイルスへの対応で、ロゴマーク活用の意識が少し薄れてしまったように感じますが・・・「今です！」

ロゴマークを活用して、千厩病院らしさを積極的にアピールしていきたいと思います。

事務局長　及川純也

オンライン面会のおしらせ

新型コロナ感染対策として病棟の面会制限を行っており、入院患者様およびご家族様には多大なるご迷惑をおかけしております。

当院では、令和３年６月からＷＥＢ会議サービス「Ｚｏｏｍ」を利用したオンライン面会サービスを行っており、パソコン、タブレットなどの画面を通して患者様とご家族様の面会の場を提供しております。

新型コロナウイルスがいまだ収まらない状況であるため、限られた時間ではありますが左記の時間で実施しております。

ご利用は事前に当院での予約が必要となります。ご希望の方は総合窓口にお越しください。料金は無料です。

◆面会可能日◆月～金曜日（祝日を除く）
◆面会可能時間◆１４時～１５時
◆面会方法◆ご来院のうえ、病院で用意したタブレットを使用して面会をします。患者さんお一人につき週に１回１５～２０分程度の面会時間となります。

◆注意事項◆
・事前予約制となります。ご来院のうえ申込書をご記入ください。
・ご家族様との面会のほか、介護保険認定調査などにも利用するため、ご希望に添えない場合がございます。
・ご自宅のパソコン等で「Ｚｏｏｍ」が利用可能な場合はご自宅からも面会が可能です。

医事経営課主任　中山剛

感染症流行中の病院受診方法について
ご理解、ご協力をお願いいたします

　新年を迎え、新しい年が皆様にとって健やかで素晴らしい年でありますよう、こころからお祈り申し上げます。
　現在、新型コロナウイルス感染症の終息が見えないなか、インフルエンザの同時流行が懸念されております。

～来院時にお願いしたいこと～

- マスクの着用と手指消毒（正面玄関に設置しています）
- 正面玄関に設置してあるモニターでの体温測定の実施

1．発熱やのどの痛み、咳などの風邪症状がある場合は・・・

- **病院に電話で連絡のうえ症状をご相談ください**
- 症状等を確認後発熱外来受診となります
- その際に受診方法や診察時の注意事項について説明いたします
- **直接の来院はご遠慮ください**

2．ご家族や職場の同僚など、身近に新型コロナウイルス感染症の陽性者がいる場合は・・・

- 事前に病院へ電話でご相談ください
- 体調が優れず心配な時は病院にお問い合わせ下さい
- 院内では感染対策のため定期的な換気を実施しております、寒く感じる場合は職員へお知らせ下さい

外来看護師長　佐藤　美智代

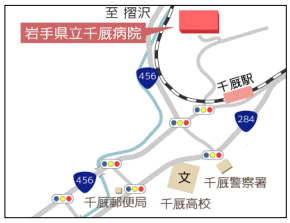
医師のご紹介

赤沼 利奈　医師
岩手県立中央病院
（令和５年１月～３月）
診療科：総合診療内科

中島 沙月 研修医
岩手県立中央病院
（令和５年１月～２月）
診療科：総合診療内科

受診予約をお願いいたします

次の診療科は曜日によって完全予約制となっており、事前予約が必要です。
◆循環器内科　◆心臓血管外科　◆小児科　◆整形外科　◆眼科　◆呼吸器内科　◆皮膚科
◆看護外来（医師の指示により実施）
ご予約に関するお問い合わせは午後３時～午後５時の間、お電話で受付しております。
※キャンセルは随時受付しております。

Senmaya Hospital Iwate Prefectural

岩手県立千厩病院
〒029-0803
岩手県一関市千厩町千厩字草井沢 32-1
TEL　0191-53-2101　FAX0191-52-3478
ホームページ www.senmaya-hospital.jp